

多摩市議会議員 政党や特定団体の支援は一切受けず完全無所属で活動中

# 岩永ひさか Report

<http://www.iwanaga-hisaka.net/>

発行/岩永ひさかと夢・まち会議 Phone (留守番電話専用) / 042-371-0763



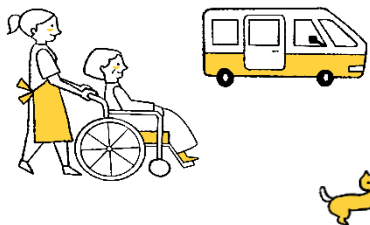
しかし、それを待たずして、現状の税金の使われ方、使い方を問うならば、やはり、総合福祉センター送迎バスについては、市民に喜ばれるよう一日も早い見直しに着手していかねばならないと考えます。

そのためには、送迎バスの運行を実施するバス事業者との交渉が必要となりますが、道路交通課も一緒に、ミニバスに対する期待やニーズの高まりを念頭に、市民のための改革改善を進めるべきと思います。

## 高齢者の運転免許証返納も進めることができればいい。

また、近年、高齢ドライバーによる事故も頻発していますが、「移動」のことを考えると、運転免許証を手放せないという方もおられます。公共交通の利便性が向上することで、運転免許証返納を促すことも可能と考えます。

「移動の権利」を保障し、「住み慣れた場所でいつまでも安全安心に暮らし続けられる」を実現するための課題解消に向け、縦割り行政の壁を取り除いたさらなる取組みが求められます。ぜひご意見等お寄せ下さい。



## Policy & Style

### 公平公正な姿勢！

市民全体に向けた活動を心がけ、個人後援会はありません。

### 政策づくりが議員の仕事！

議員としての専門性を磨き、市民の自治力の向上をバックアップします。

### 話し合いが大切！

意見の違いは粘り強く議論をつづけることで、「第3の道」を見つける努力をします。

## PROFILE

1977年 兵庫県神戸市生まれ 北諏訪小学校卒  
桐朋女子中高(普通科)卒 中央大学法学部政治学科卒  
明治大学大学院がバナンス研究科修了  
金融機関に3年間勤務したのち、  
2002年4月 多摩市議会議員補欠選挙にて当選。  
現在7期目。諏訪2丁目在住 家族/娘18歳  
総務常任委員会、多摩市役所本庁舎建替基本計画特別委員会



## Phone & Fax

☎: 042-371-0763

いたずら、迷惑電話が多く、留守番電話専用です。  
お名前、ご用件と希望する連絡先等をお願いします。

mail: [hisaka\\_box@yahoo.co.jp](mailto:hisaka_box@yahoo.co.jp)

## 「気候危機」を自分事に。

今年の夏も厳しい暑さが続きました。気候変動が指摘され、地球環境問題に対する意識を高めること、CO2削減の努力などと言われるものの、冷房のない暮らしは身体に堪えます。高騰している電気代などのことを考えても、エアコンをなるべく使わず…と心がけるにしても限界がありました。

そして、ようやく朝晩と昼の寒暖差を感じる日々が続き、待ち望んだ秋を感じるようになりました。今冬は「例年よりも暖かい」とのことですが、寒いのはやっぱり苦手だなあと感じています。秋風が一段と身に沁みる今日この頃です。

それにしても、海外に目を向けても、山火事、水害など含め、自然災害が頻発したり、私たちの日本が享受してきた「穏やかな四季ある気候」そのものが変わってきたことも実感せずにはられません。

私たちが突きつけられている「自然との調和」

これからの時代に私たちがますます考えていかなければならないことだと思っています。私は「気候危機」を自分事にするために必要なことは、私たちが地球にある生態系の一部に過ぎないことを認識することだと考えます。

「ヒト」がピラミッドの頂点にいるわけではないのです。

多摩市でも「気候市民会議」が開催され、とても活発に意見交換が行われたようですが、ますます私たち自身の生き方が問われている時代だと受け止めています。「大量生産大量消費」で成長してきた時代への総括と反省を、地に足をつけた行動にと皆さんとつながっていきたくものです。

そして、つながる空の下で起きている戦争が一日も早く終わりを迎えられるようにと願う日々が続きます。「平和」もまた、私たちの<人を思いやる心>で。どうぞよろしく願っています。



## ペットボトルは必ず分別「はがして とって すすいで ポン！」

12月から、収集ボックス内に分別がされていないペットボトルが混入している場合には、缶も含めて、回収しないことになりました。リサイクル品質向上へのご協力をお願いいたします。

## もっと利用しやすく、便利にできないの？

# 地域の公共交通、再編成をしてほしい。

坂道が多く、荷物をもって帰るのがとても大変で・・・という声が高齢化の進展とともに、以前よりも、ぐっと増えてきた気がします。多摩市では地域公共交通の確保とし、「ミニバス」を運行してきましたが、「もっと利便性が上がらないの？」と改善を希望し、期待する意見が多く聞かれます。

### 地域密着型交通・ミニバス事業の運営状況は・・・。

多摩市では交通不便地域を解消するため平成9年から「ミニバス」を運行しています。この間、路線の見直し、早朝時間帯の増便などを図りつつ、より利便性を高めるための工夫にも取り組んできました。

今年7月に多摩市立中央図書館が開館し、多摩センター駅からのアクセスを考えたバス停の増設も行っています。少しでも市民の皆さんの要望に応え、利便性を高めたいと取り組んでいるものの、利用者は伸び悩んでいるのが実態です。本年度の予算は約**6,200万円**（昨年度決算ベース。6,077万円）ミニバスを運行するバス事業者に対し、運行経費から運行収入を差し引いた不足分を補助金として支出しています。

現状、ミニバスに限らず、バス事業そのものが燃料費や人件費の高騰により、厳しい状況を余儀なくされていますが、すでにミニバスも運賃改定が行われ、シルバーバスを持っていない世代にとっては、「運賃の高さ」がハードルとなっている傾向も見受けられます。また、運行ルートとダイヤについても時間がかかりすぎるなど課題もあります。

### 「地域公共交通再編実施計画」で定めた実証実験がコロナ禍で中断されている。

かねてから、運行ダイヤ等についても、利便性を向上する観点から路線全体の見直しの必要性が指摘され、また、「空白地帯」と言われる交通不便地域はもちろんのこと、高齢化とともに移動手段の充実に対する声の高まりが認識されています。

こうした状況を踏まえ、2019年度末（令和2年3月）に「多摩市地域公共交通再編実施計画」が策定され、本来は計画期間である「2020年度（令和2年度）～2027年度（令和9年度）」にミニバス、コミュニティタクシー、デマンド型交通（予約制で利用する）を検討していく予定でした。まずは、実証実験を行いつつ、収支状況等検証し、本格実施する方向になっていましたが、残念ながら、コロナ禍により計画は中断したままになっています。

### 気になる「総合福祉センター（老人福祉センター）」送迎バスの実態。

高齢者の移動手段の確保にあたって、多摩市では「総合福祉センター送迎バス」を実施しています。目的地である「総合福祉センター」に行くための専用バスになっており、利用対象は「総合福祉センターを利用する、60歳以上の多摩市民の方、身体障がい者手帳をお持ちの60歳以上の多摩市民の方で『アクアブルー多摩』を利用する方」となっています。利用は無料です。

実はこの送迎バスもミニバスを運行するバス事業者に運行を委託していますが、その費用は昨年度ベースで**4,224万円**（1/2は東京都補助。都の補助があるとはいえ、すべてみんなの税金）です。送迎バスを便利に利用されている方もいらっしゃるとはいえ、便によっては一日平均乗降客数が多くても昨年度実績値で**10.8人（最小だと1.4人）**となっており、この運行効率の悪さを指摘せざるを得ません。

総合福祉センターの送迎バスは、言ってみれば、ほとんど乗車がなく、「空気を運ぶ」になっているのです。この状態をそのまま放置することはもったいない運営方法ではないでしょうか。

### 縦割り行政の「壁」を取り除くことはできないか

現状、送迎バスは高齢福祉課の事業であり、「地域公共交通再編実施計画」の対象からは除外されていますが、改めて、道路交通課が担当する「地域公共交通再編実施計画」とも照らし合わせ、考えていくことが望ましいと感じます。

### ●多摩市ミニバス運行等補助金及び利用状況

年度 \ 種別	運行補助金	年間利用人員※推計	
		東西線	南北線
平成30年度	49,020,000円	631,450人	74,095人
令和元年度	54,850,000円	616,120人	60,225人
令和2年度	61,369,000円	458,805人	44,895人
令和3年度	55,268,000円	594,950人	52,650人
令和4年度	60,776,000円	635,465人	60,225人

令和4年度決算事業報告書(総務費74頁)より転載 ※一部加工

### ●多摩市総合福祉センター送迎バス運行業務委託料及び利用状況

年度 \ 種別	委託料	送迎人数
平成30年度	31,065,120円	43,972人
令和元年度	28,211,160円	37,647人
令和2年度	32,911,395円	11,478人
令和3年度	42,240,000円	18,287人
令和4年度	42,240,000円	22,369人

令和4年度決算事業報告書(民生費98頁)より転載 ※一部加工

